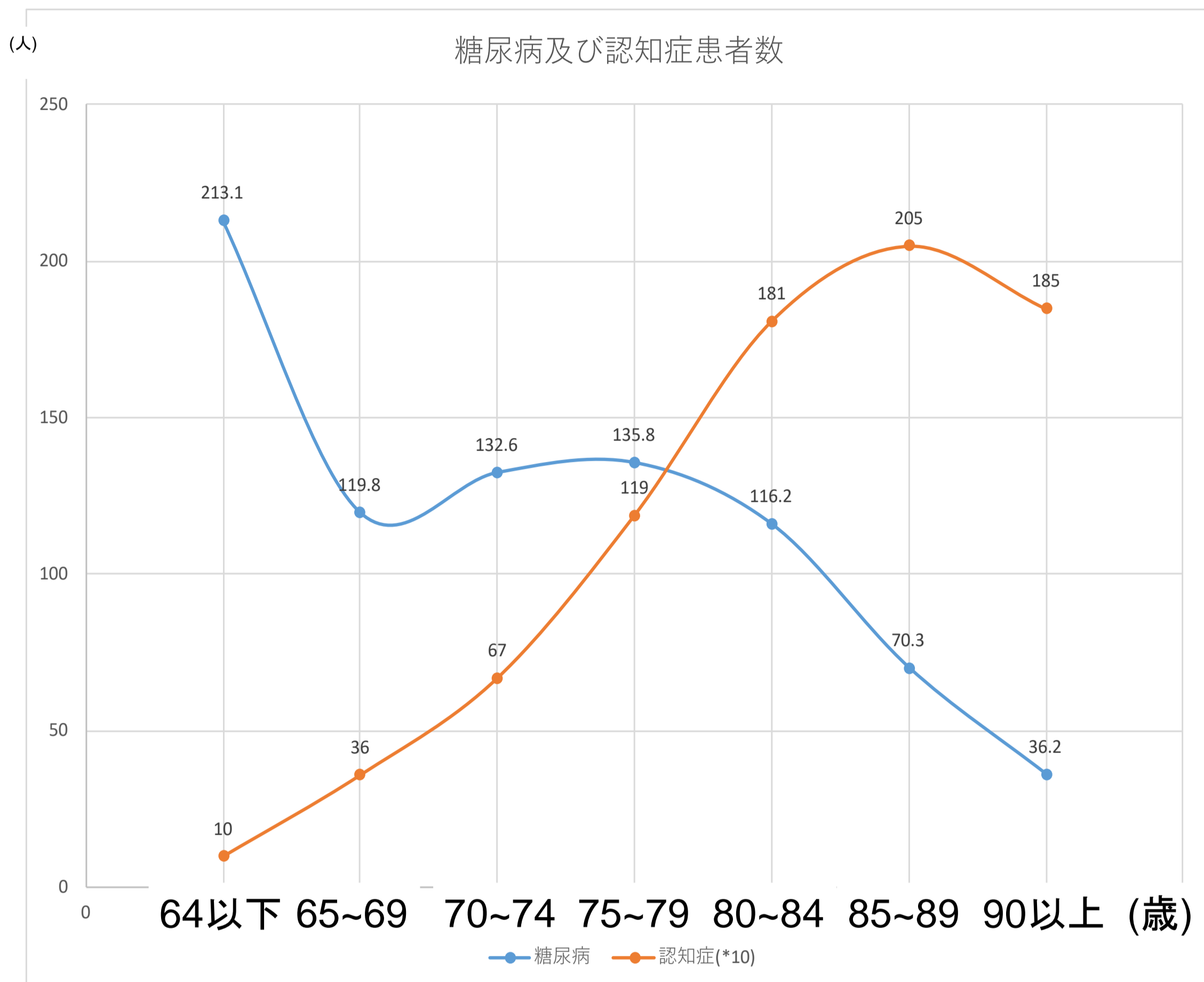


金沢工業大学 青塚達也, 酒井悠平
金沢工業大学 高野則之教授

背景



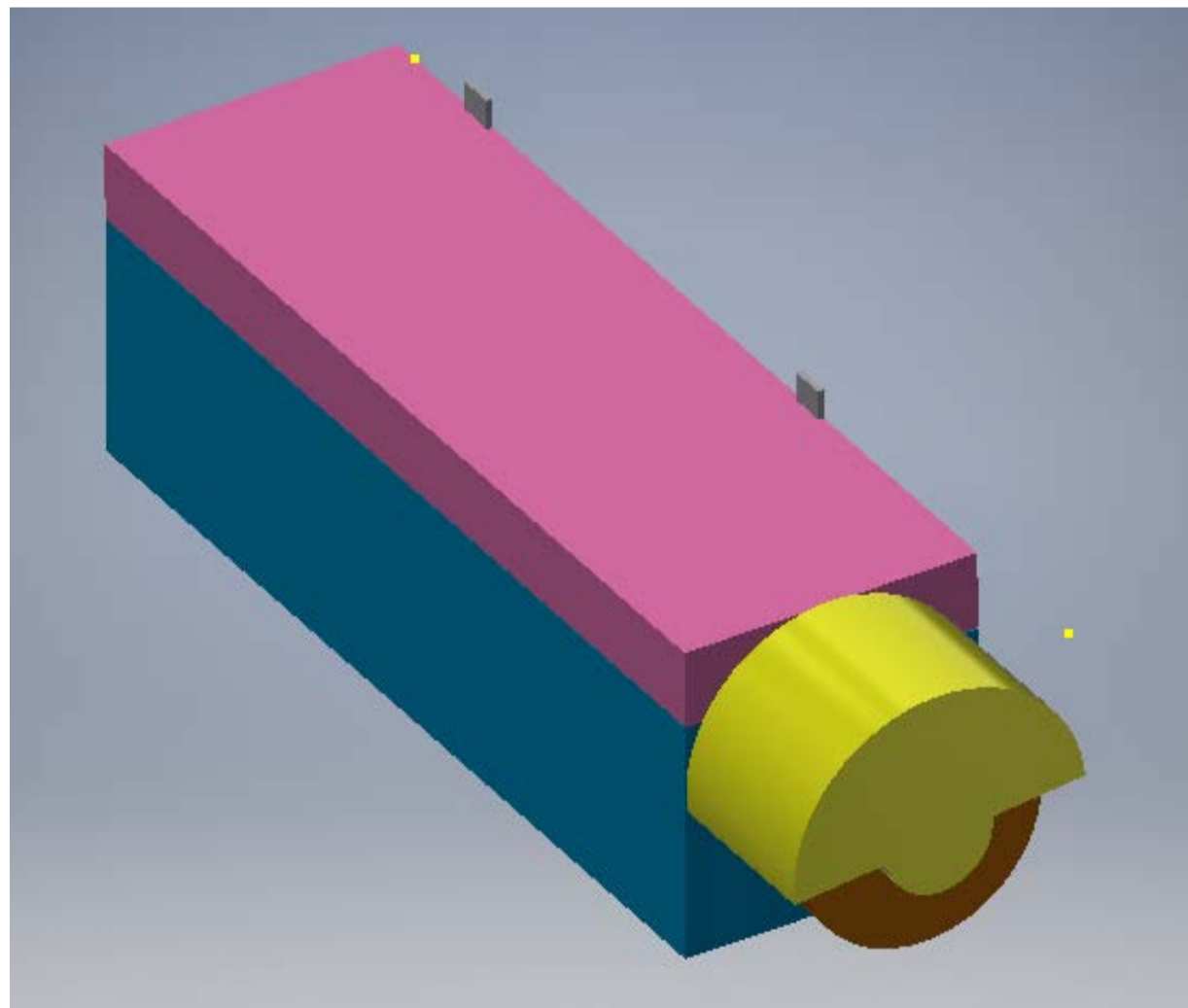
糖尿病患者の中にはインスリン注射を用いた薬物治療を行わなければならない患者がいる。しかしその患者の中でも認知症を持つ患者は、一人で注射を打つことができない。またそれをサポートする注射ボックスなどがあまり存在せず、存在したとしてもコストがかかる。それらのことから軽度の認知症と糖尿病を併発している患者をサポートする注射ボックスを製作することにした。



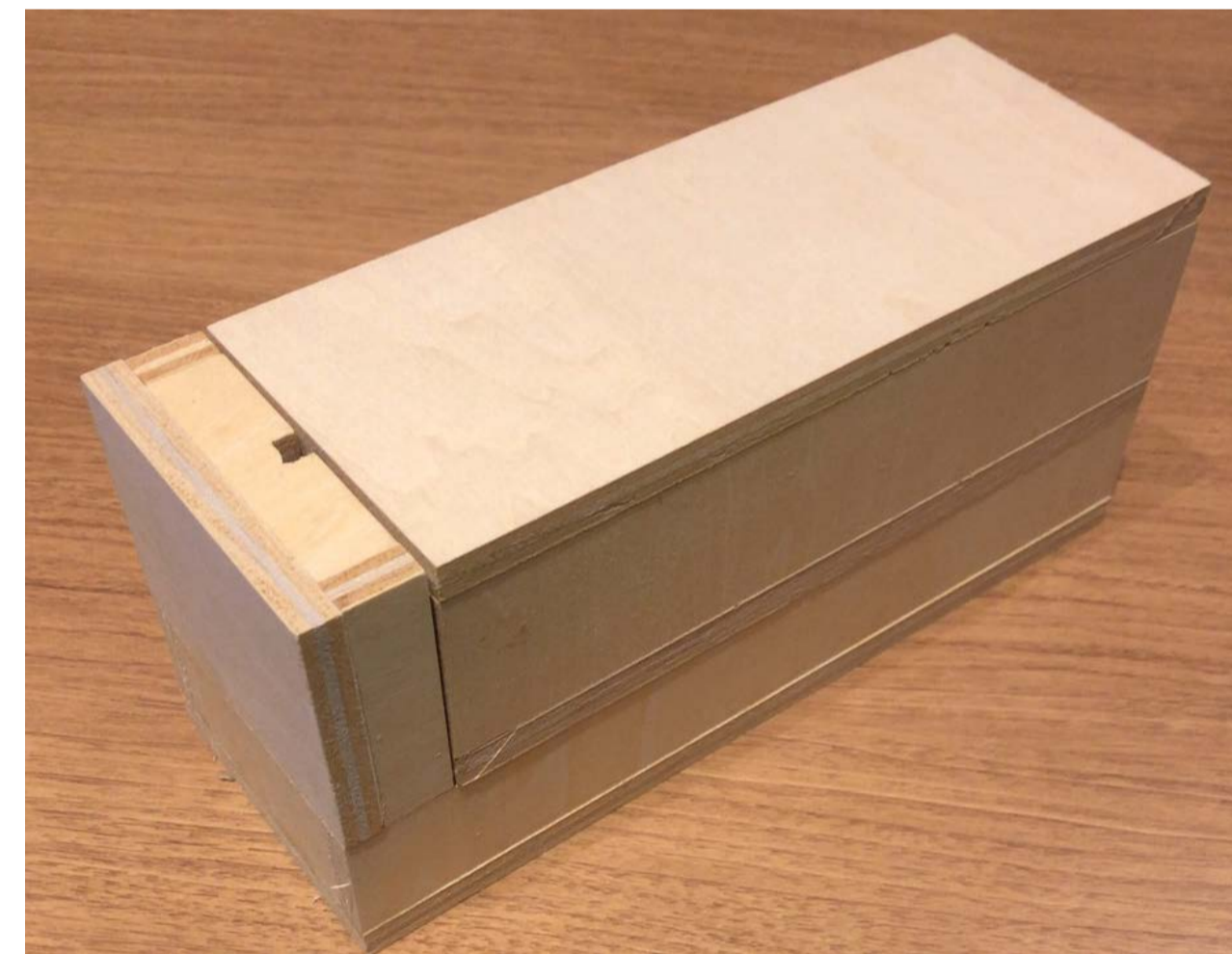
<https://www.healthcare.omron.co.jp/resource/column/topics/112.html> より

今年度の活動成果

本体



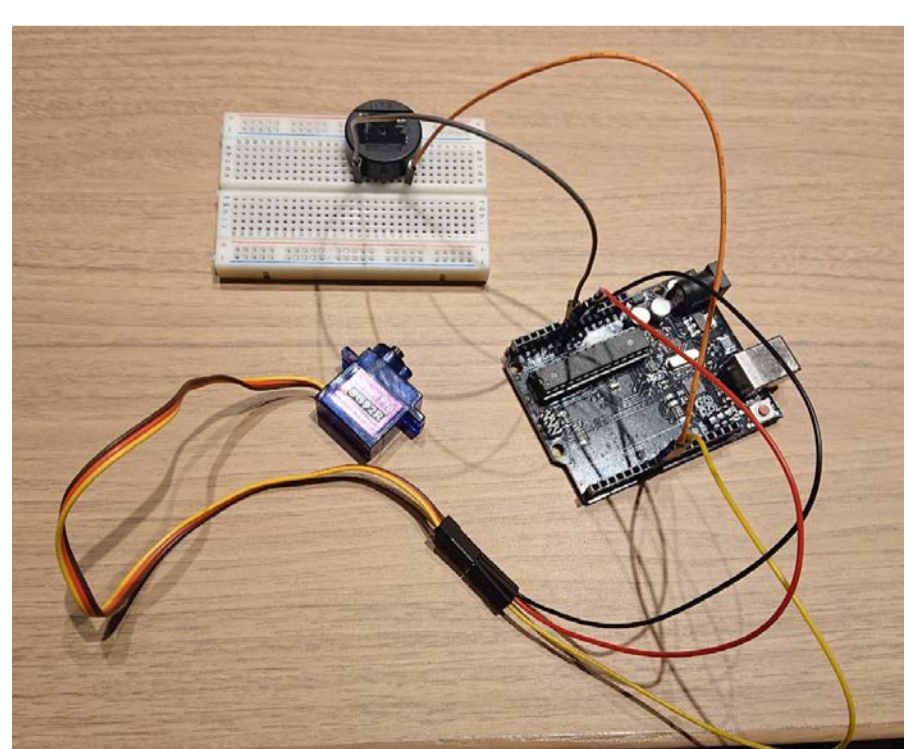
昨年度



今年度

- ・ロック機構部を直接触れないようにした。
- ・基盤をしまうスペースを設けるため、2段にした。
- ・実際に試作品を製作した。

回路・プログラム



```

33 #include<Servo.h>
34
35 Servo myservo;
36
37 void setup(){
38   myservo.attach(9);
39 }
40
41 void loop(){
42   myservo.write(180);
43   delay(5000);
44   tone(8,440);
45   delay(500);
46   noTone(8);
47   myservo.write(-180);
48   delay(5000);
49 }

```

- ・周期的なモータの回転とブザーを鳴らせるようにした。
- ・マイコンをラズベリーパイからArduino UNOに変更した。

今後の活動目標

- ・注射器を戻したか確認してからロックする機構の追加
- ・ロック機構の強度強化
- ・時間制御を行った上でディスプレイに表示する